

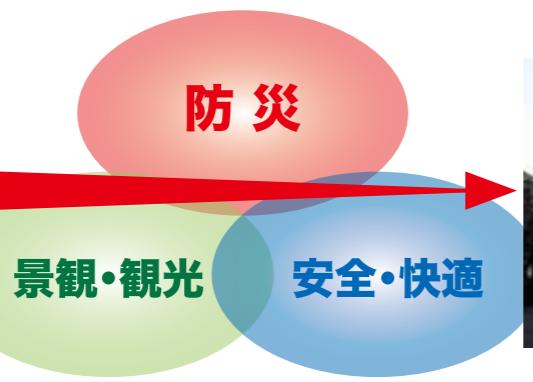
## 白木原駅前から電柱が無くなります！

「防災」「安全・快適」「景観の向上」を目的として、県と市が共同して無電柱化を図ります。

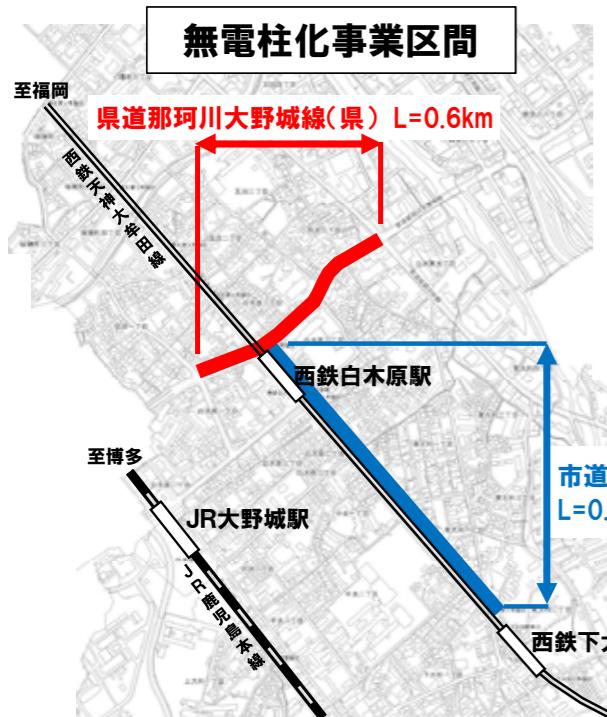
整備前



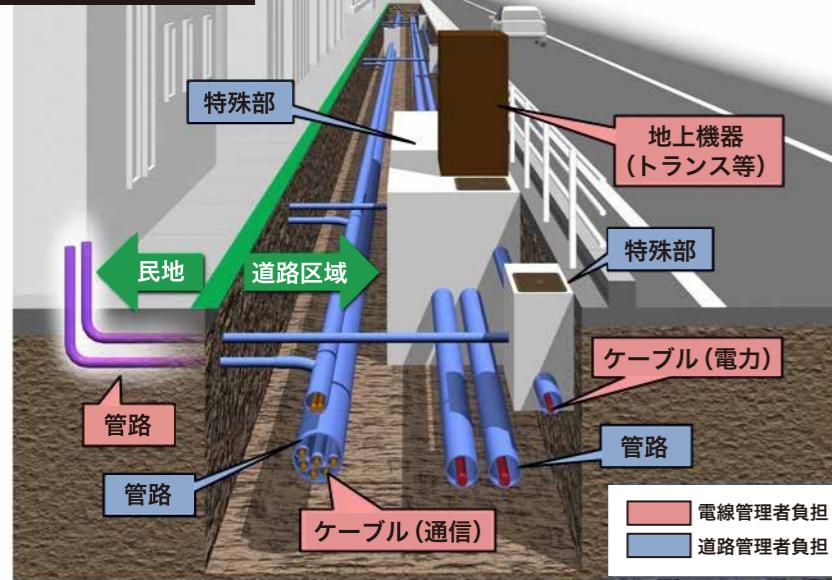
整備後(イメージ)



電柱と電線がなくなり  
街の活性化に繋がります



電線共同溝（イメージ）



近年、全国的に災害が頻発し、激甚化していますが、平成28年には、熊本地震が発生し、福岡県においても、平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年7月の豪雨により、甚大な災害が発生し、今年も7月及び8月に豪雨に見舞われたところです。

このような、災害による被害を最小限にとどめ、迅速に回復させるのが、国土強靭化であります。災害によって、最悪の事態が発生しないように、日頃から備え、災害時に守り支える、インフラの機能を維持することが重要です。

福岡県は、平成28年3月に「福岡県地域強靭化計画」を策定し、令和元年6月には、これを改定しているところですが、内閣官房のホームページによると、「市町村の国土強靭化市町村計画の策定率」は、28道府県では、「30%以上」の市町村が策定済み、又は策定中であるのに対して、福岡県では、その率が30%未満と低く、九州各县と比べても、策定が進んでいない状況です。

私は、これまで県議会において市街地における緊急輸送道路の無電柱化について繰り返し質問をしてきたところです。今回、連続立体交差事業と合わせて白木原駅前の無電柱化計画が動き出しました。

遅れ

## 連続立体交差事業計画

西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）

第5弾

福岡県では、交通渋滞及び踏切事故の解消を図り、分断された市街地を一体化することにより、土地の利用価値を向上させ、都市の活性化を図ることを目的として、西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体事業を実施しております。西日本鉄道株式会社が鉄道部分の工事を行い、西鉄天神大牟田線春日原駅から下大利駅間の高架化を進めています。本事業は、令和2年度に高架切り替え、令和3年度完成を予定していましたが、令和元年10月末、西日本鉄道株式会社から、不測の事態により工期変更が必要になったとして、事業計画の変更に係る協議の申出が福岡県に対してありました。

本事業の目的に鑑み、工期変更是県民生活に大きな影響を及ぼすことから、工期変更の事由及び期間の検証並びに工期短縮の検討について、学識経験者を交えた検証委員会を立ち上げ、11月22日に、第1回委員会を開催しました。また、12月20日には第2回委員会を開催し工期変更の理由（事由）と期間の合理性、期間

踏切事故の解消を図り、分断された市街地を一体化することにより、土地の利用価値を向上させ、都市の活性化を図ることを目的として、西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体事業を実施しております。西日本鉄道株式会社が鉄道部分の工事を行い、西鉄天神大牟田線春日原駅から下大利駅間の高架化を進めています。

福岡県では、交通渋滞及び踏切事故の解消を図り、分断された市街地を一体化することにより、土地の利用価値を向上させ、都市の活性化を図ることを目的として、西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体事業を実施しております。西日本鉄道株式会社が鉄道部分の工事を行い、西鉄天神大牟田線春日原駅から下大利駅間の高架化を進めています。

## 駅舎の進捗状況

撮影:令和元年12月27日

